

報道関係者各位

株式会社 BCN
〒101-0047 東京都千代田区内神田 2-12-5 内山ビル
TEL: 03-3254-7801 FAX: 03-3254-7802

本件に関するお問い合わせは下記にお願いします
BCN AWARD 2022 実行委員会
E-MAIL: bcn_award@bcn.co.jp

デジタル家電やパソコンなどの年間販売数 No.1「BCN AWARD 2022」受賞社発表 ～あわせて「BCN IT ジュニア賞 2022」受賞者を発表～

株式会社 BCN(本社:東京都千代田区、奥田喜久男 会長兼社長)は1月17日、「BCN AWARD 2022」の受賞社を発表した。全国の主要家電量販店やカメラ量販店、パソコン専門店、ネットショップなどの実売データをもとに、デジタル家電やパソコン関連製品の販売数を集計し、部門別に2021年の年間販売数 No.1 メーカーを表彰するもの。23回目を迎える今回は、110部門で51社が受賞した。あわせて、ITに取り組む若者を対象としたコンテストで優秀な成績を収めた個人やチームを表彰する「BCN IT ジュニア賞 2022」の受賞者も発表した。

【初受賞や新設部門など、受賞社の主な顔ぶれ】

デジタル家電やパソコン、それら関連製品とソフトウェアの部門別販売数年間 No.1 メーカーを決める BCN AWARD。今回は、ハードウェアが86部門で36社、ソフトウェアが24部門で15社、計110部門で51社が受賞した。

今回の初受賞は7社。「液晶テレビ(4K未滿)部門」のTVS REGZAを始め、「SSD内蔵部門」でウエスタンデジタル、「ワイヤードスピーカー部門」でロジクール、「サウンド関連ボード部門」でエレコム、「スピーカーシステム部門」でディーアンドエムホールディングス、「PLC部門」でティーピーリンクジャパン、「テンプレートソフト部門」で日本法令がそれぞれ初めて受賞した。

また、「セキュリティソフト部門」でノートンライフロックが14年ぶりにBCN AWARDに輝いたのを始め、「インクジェットプリンタ部門」でエプソンが3年ぶり、「デジタルビデオカメラ部門」でパナソニック、「電子文具部門」でキングジム、「HDD内蔵部門」でウエスタンデジタルがそれぞれ2年ぶりにBCN AWARDを奪還した。(そのほかの各部門、受賞社は「BCN AWARD 2022 受賞社一覧」をご参照ください)

【23年連続受賞】

BCN AWARDの創設以来23年連続でBCN AWARDを受賞したメーカーは次の通り(6社10部門)。

- ・バッファロー「LANカード部門」 ・ワコム「ペンタブレット部門」
- ・日本マイクロソフト「OS部門」「統合ソフト部門」「データベースソフト部門」
「表計算・グラフソフト部門」「プレゼンテーションソフト部門」
- ・ジャストシステム「ワープロ・エディタソフト部門」
- ・弥生「業務ソフト部門」 ・ソースネクスト「葉書・毛筆ソフト部門」

【「BCN AWARD 2022・BCN IT ジュニア賞 2022 表彰式」開催概要】

「BCN AWARD 2022・BCN IT ジュニア賞 2022 表彰式」は、下記の通りオンラインで開催いたします。
メディア各社様の取材も可能ですので、下記 URL よりご登録のうえご視聴いただけますと幸いです。

開催日時：2022年1月21日（金）16：00～18：00（開場 15：50）

オンライン開催：視聴登録 URL=https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_9PXkplnSQXGuTXdFs9yF1g

<BCN AWARD とは>

「BCN AWARD」は、全国の主要な家電量販店、パソコン専門店、ネットショップの実売データを集計する BCN が、そのデータをもとに部門ごとの年間（1月1日～12月31日）販売数累計第1位のメーカーを表彰する制度です。「BCN AWARD 2022」は、全国 23 社／2643 店舗（※）を対象に 2021 年の年間販売数を集計し決定しました。受賞社の決定にあたっては、5 名の有識者からなる認証委員会を設置し、委員会の認証を経る公正な評価システムを導入しています。

※集計対象社は、当社と販売店との間でデータ提供契約を締結している法人数をカウントしています。また、店舗数は新規出店/統廃合などにより若干変動いたします。

<実売データ提供販売店>

アマゾン ジャパン、エクスプライス、エディオン、NTT レゾナント、玉光堂、ケーズホールディングス、コジマ、サードウェーブ、サンキュー、上新電機、ストリーム、ソフマップ、ZOA、ナニワ商会、ビックカメラ、ピーシーデポコーポレーション、ベスト電器、三星カメラ、ムラウチドットコム、ユニットコム、ラオックス、楽天グループ、綿半ドットコム（50音順）

<後援>

大手家電流通協会

一般社団法人 コンピュータソフトウェア著作権協会

一般社団法人 ソフトウェア協会

一般社団法人 電子情報技術産業協会

一般社団法人 日本コンピュータシステム販売店協会

公益財団法人 日本生産性本部

BCN AWARD 2022 受賞社一覧

<ハードウェア部門 86部門 36社>

部門名	受賞社	受賞回数
デスクトップPC部門	富士通クライアントコンピューティング株式会社	5年連続7回目
ノートPC部門	NECパーソナルコンピュータ株式会社	11年連続15回目
タブレット端末部門	Apple Inc.	11年連続11回目
タブレット端末アクセサリ部門	エレコム株式会社	11年連続11回目
液晶ディスプレイ部門	株式会社アイ・オー・データ機器	6年連続7回目
VR・ARゴーグル部門	Reality Labs	3年連続3回目
インクジェットプリンタ部門	セイコーエプソン株式会社／エプソン販売株式会社	12回目
ページプリンタ部門	キヤノン株式会社／キヤノンマーケティングジャパン株式会社	4年連続17回目
サーマルプリンタ部門	キヤノン株式会社／キヤノンマーケティングジャパン株式会社	17年連続17回目
複合プリンタ部門	キヤノン株式会社／キヤノンマーケティングジャパン株式会社	3年連続8回目
フォトプリンタ部門	キヤノン株式会社／キヤノンマーケティングジャパン株式会社	8年連続9回目
HDD外付部門	株式会社バッファロー	14年連続19回目
HDD内蔵部門	ウエスタンデジタル合同会社	7回目
NAS部門	株式会社バッファロー	9年連続9回目
記録型DVDドライブ部門	株式会社バッファロー	2年連続11回目
SSD外付部門	株式会社バッファロー	2年連続2回目
SSD内蔵部門	ウエスタンデジタル合同会社	初受賞
メモリ部門	シー・エフ・デー販売株式会社	11年連続11回目
マザーボード部門	ASUS JAPAN株式会社	17年連続19回目
メモリカード部門	ウエスタンデジタル合同会社	3年連続9回目
USB部門	エレコム株式会社	6年連続21回目
カードリーダー部門	エレコム株式会社	12年連続13回目
拡張インターフェース部門	シー・エフ・デー販売株式会社	13年連続13回目
USBメモリ部門	株式会社バッファロー	2年連続9回目
KVM切替器部門	エレコム株式会社	8年連続10回目
PCケース部門	Thermaltake Technology Co., Ltd. / 株式会社アスク	4年連続4回目
ベアボーン部門	ASRock Incorporation	3年連続3回目
PC電源部門	シー・エフ・デー販売株式会社	11年連続11回目
ドライブケース部門	シー・エフ・デー販売株式会社	12年連続14回目
ワイヤードスピーカー部門	株式会社ロジクール	初受賞
ワイヤレススピーカー部門	ハーマンインターナショナル株式会社	4年連続4回目
DTM関連機器部門	ヤマハ株式会社／株式会社ヤマハミュージックジャパン	2年連続2回目
映像関連ボード部門	グーグル合同会社	8年連続8回目
サウンド関連ボード部門	エレコム株式会社	初受賞
グラフィックボード部門	エムエスアイコンピュータージャパン株式会社	3年連続3回目
ホームシアターシステム部門	ソニー株式会社／ソニーマーケティング株式会社	3年連続8回目
スピーカーシステム部門	株式会社ディーアンドエムホールディングス	初受賞
AVアンプ部門	株式会社ディーアンドエムホールディングス	3年連続3回目
ヘッドホン・イヤホン(ワイヤード)部門	エレコム株式会社	2年連続2回目
ヘッドホン・イヤホン(ワイヤレス)部門	Apple Inc.	2年連続2回目
携帯オーディオ部門	ソニー株式会社／ソニーマーケティング株式会社	11年連続11回目
携帯オーディオアクセサリ部門	エレコム株式会社	15年連続15回目
ICレコーダー部門	OMデジタルソリューションズ株式会社	7年連続15回目

部門名	受賞社	受賞回数
電子ピアノ部門	カシオ計算機株式会社	2年連続3回目
LANカード部門	株式会社バッファロー	23年連続23回目
HUB部門	株式会社バッファロー	21年連続22回目
ルータ部門	株式会社バッファロー	19年連続20回目
無線LAN部門	株式会社バッファロー	20年連続20回目
PLC部門	ティーピーリンクジャパン株式会社	初受賞
UPS部門	シュナイダーエレクトリック株式会社	7年連続13回目
スキャナ部門	株式会社PFU	12年連続12回目
デジタルカメラ(レンズ一体型)部門	キヤノン株式会社／キヤノンマーケティングジャパン株式会社	3年連続17回目
デジタルカメラ(一眼レフ)部門	キヤノン株式会社／キヤノンマーケティングジャパン株式会社	14年連続16回目
デジタルカメラ(ミラーレス一眼)部門	ソニー株式会社／ソニーマーケティング株式会社	2年連続3回目
デジタルビデオカメラ部門	パナソニック株式会社／パナソニック コンシューマーマーケティング株式会社	6回目
アクションカメラ部門	GoPro, Inc.	7年連続7回目
デジタルフォトフレーム部門	恵安株式会社	5年連続5回目
交換レンズ部門	キヤノン株式会社／キヤノンマーケティングジャパン株式会社	13年連続13回目
三脚・一脚部門	ハクバ写真産業株式会社	2年連続4回目
カメラケース・バッグ部門	ハクバ写真産業株式会社	6年連続6回目
PCカメラ部門	株式会社ロジクール	9年連続14回目
マウス部門	エレコム株式会社	22年連続22回目
キーボード部門	株式会社ロジクール	10年連続10回目
ゲームコントローラ部門	株式会社ロジクール	2年連続2回目
10キーボード部門	エレコム株式会社	6年連続16回目
ペンタブレット部門	株式会社ワコム	23年連続23回目
スマートフォン部門	Apple Inc.	11年連続11回目
SIMフリーススマートフォン部門	Apple Inc.	2年連続2回目
スマートフォンケース部門	エレコム株式会社	9年連続9回目
スマートフォン保護シート部門	エレコム株式会社	6年連続6回目
モバイルバッテリー・充電器部門	エレコム株式会社	8年連続8回目
電子辞書部門	カシオ計算機株式会社	17年連続17回目
電子文具部門	株式会社キングジム	8回目
CDメディア部門	マクセル株式会社	6年連続11回目
DVDメディア部門	マクセル株式会社	6年連続12回目
BDメディア部門	マクセル株式会社	5年連続5回目
液晶テレビ(4K未満)部門	TVS REGZA株式会社	初受賞
液晶テレビ(4K以上)部門	ソニー株式会社／ソニーマーケティング株式会社	2年連続4回目
有機ELテレビ部門	ソニー株式会社／ソニーマーケティング株式会社	5年連続5回目
デジタルチューナー部門	株式会社アイ・オー・データ機器	6年連続9回目
BD・DVDレコーダー部門	パナソニック株式会社／パナソニック コンシューマーマーケティング株式会社	11年連続13回目
BD・DVDプレーヤー部門	ソニー株式会社／ソニーマーケティング株式会社	7年連続13回目
プロジェクター部門	セイコーエプソン株式会社／エプソン販売株式会社	18年連続18回目
PND部門	パナソニック株式会社／パナソニック コンシューマーマーケティング株式会社	5年連続7回目
ドライブレコーダー部門	株式会社コムテック	5年連続5回目
LED電球・蛍光灯部門	アイリスオーヤマ株式会社	2年連続3回目

＜ソフトウェア部門 24部門 15社＞

部門名	受賞社	受賞回数
OS部門	日本マイクロソフト株式会社	23年連続23回目
統合ソフト部門	日本マイクロソフト株式会社	23年連続23回目
ワープロ・エディタソフト部門	株式会社ジャストシステム	23年連続23回目
文書管理ソフト部門	ソースネクスト株式会社	19年連続19回目
データベースソフト部門	日本マイクロソフト株式会社	23年連続23回目
表計算・グラフソフト部門	日本マイクロソフト株式会社	23年連続23回目
データ管理ソフト部門	株式会社デネット	6年連続6回目
セキュリティソフト部門	株式会社ノートンライフロック	8回目
プレゼンテーションソフト部門	日本マイクロソフト株式会社	23年連続23回目
グラフィックスソフト部門	アドビ株式会社	3年連続18回目
ビデオ関連ソフト部門	サイバーリンク株式会社	7年連続9回目
画像処理ソフト部門	アドビ株式会社	20年連続20回目
サウンド関連ソフト部門	クリプトン・フューチャー・メディア株式会社	15年連続15回目
LAN・インターネットソフト部門	株式会社ジャストシステム	14年連続14回目
業務ソフト部門	弥生株式会社	23年連続23回目
通信ソフト部門	株式会社インターコム	22年連続22回目
CADソフト部門	エーアンドエー株式会社	6年連続6回目
申告ソフト部門	弥生株式会社	18年連続18回目
システムメンテナンスソフト部門	AOSデータ株式会社	13年連続13回目
ユーティリティソフト部門	株式会社AHS	5年連続5回目
トレーニングソフト部門	ソースネクスト株式会社	21年連続22回目
テンプレートソフト部門	株式会社日本法令	初受賞
葉書・毛筆ソフト部門	ソースネクスト株式会社	23年連続23回目
PCゲームソフト部門	株式会社スクウェア・エニックス	5年連続8回目

< BCN IT ジュニア賞 2022 >

株式会社 BCN は、技術立国日本の次代を担う若い世代にもものづくりの情熱を伝え、IT 産業に一人でも多くの優秀な人材を迎えるために、2006 年に「BCN IT ジュニア賞」を創設。今回で 17 回目を迎える。今年も、高等専門学校が生徒が参加する「全国高等専門学校プログラミングコンテスト」、工業高校生を対象とした「高校生ものづくりコンテスト全国大会」「全国高校生プログラミングコンテスト」、全国の 22 歳以下を対象とする「U-22 プログラミング・コンテスト」、若年者のものづくり技能を競う「若年者ものづくり競技大会」の入賞者から、すぐれた技術をもつ 5 チームと個人 5 名を選出、「BCN AWARD」表彰式の会場で表彰する。さらに、16 歳以下を対象とする「U-16 プログラミングコンテスト」の優勝者を表彰する「BCN IT ジュニア U-16 賞」では、北海道大会、八王子大会、上越妙高大会、山梨大会、長野大会、三重大会、和歌山大会、山口大会、阿南大会、愛媛大会でそれぞれ優勝した 13 名を表彰する。

< 「BCN IT ジュニア賞 2022」受賞チーム・受賞者 >

- ・「学魚養殖——製作チーム」(国立鳥羽商船高等専門学校)
- ・「Smart Gathering——製作チーム」(国立大島商船高等専門学校)
- ・チーム「迅速果断」(国立弓削商船高等専門学校)
- ・チーム「m×」(HAL 名古屋)
- ・チーム「愛知県立松山工業高等学校」(愛知県立松山工業高等学校)
- ・二宮 拓務 (関東職業能力開発大学校)
- ・稲田 颯汰 (愛媛県立松山工業高等学校)
- ・船橋 一汰 (一宮市立大和中学校)
- ・大塚 真太郎 (九州工業大学)
- ・黒田 和暉 (広島大学)

< 「BCN IT ジュニア U-16 賞 2022」受賞者 >

杉本 空翼 (旭川藤星高等学校)	熊ノ郷 公人 (八王子市立第四小学校)
野崎 琉弥 (上越市立春日中学校)	兵藤 蒼空 (北杜市立甲陵中学校)
横澤 幹大 (山梨市立日下部小学校)	フォーリー 新菜 (長野市立昭和小学校)
太田 嵐 (長野市立信州新町中学校)	田中 魁 (鈴鹿市立天栄中学校)
平見 聖 (上富田町立上富田中学校)	坂本 空紀 (山口県立岩国高等学校)
中野 晃聖 (宇部工業高等専門学校)	熊谷 衛 (石井町立高川原小学校)
河内 倫大 (松山市立久米中学校)	

本件に関するお問い合わせは下記までお願いします。

BCN AWARD 2022 実行委員会 TEL:03-3254-7801 E-MAIL:bcn_award@bcn.co.jp